

【著作権について】

このテキストは、著作権法で保護されている著作物です。

このテキストの著作権は、合同会社アカデミアに属します。

本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

【使用許諾契約書】

本契約は、本冊子を入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者：合同会社アカデミア(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に合意したことになります。

第1条：本契約の目的

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条：禁止事項

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第3条：損害賠償

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、乙は甲に対し、損害賠償を請求する場合がありますのでご注意ください。

第4条：契約の解除

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第5条：責任の範囲

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても乙は一切の責任を負いません。

声かけテンプレ

声かけ前に、まずホテル街に行き

シートノック(大の字)を 10 人以上行ってから(地方は5人以上)、
街に出て、ストリートの声かけを行う

まず、追走しながらターゲットの共有スペースを探しておく

相手の斜め前に出て、アイコンタクト、ヘソコンタクト、**距離 1m**

相手を凝視して、相手の視線が来るのを待つ(タメを作る:2,3 秒)

相手から視線が来たら、声を張って発声(相手の後ろの人に聞こえるように)

抑揚をつけて、**テンションを上げて**声かけする

【共有スペース弄り】

「こんにちは、お姉さん、その〇〇素敵ですね」

(例)「こんにちは、お姉さん、その黒いバッグ素敵ですね」

※〇〇には共有スペース(かばん、服、持ち物など)を入れる

具体的に物の名前を言って褒める。「その恰好素敵ですね」はダメ。

褒め方は、他に、「似合ってる」「可愛い」「高そう」等でもOK

さらに大げさに褒めてもOK

「どこで盗んできたんですか？」

他に、「どこで拾ってきたんですか？」等もOK

さらに以下を3連打で続ける(どこで盗んだの場合)

「いつも盗んでるじゃないですか」

「盗んだって顔に書いてありますよ」

「お母さん泣いちゃいますよ」

深掘り質問をする

「その〇〇、お気に入りなんですか？」

他に、「いつもその〇〇なんですか？」等もOK

さらに以下を続ける(バッグの場合)

「俺のこのバッグ、100円なんですよ」

「お姉さんの高そうなバッグと交換してくれたら有難いんですけど」

「交換してくれたら2秒でルンルンで帰ります」

さらに弄り連打をしても良い

【方向転換】

方向転換の前に、相手の斜め前の位置取りをしておく

① 180 度の場合

「ちょっと待って！」と言って正面に立ちはだかり立ち止める(大の字になつても良い)。

立ち話をせず、すぐに反対方向に歩かせる。

② 90 度の場合

「こっちこっち」と言って、しっかり相手の前に身体を入れ、誘導する。

【予定弄り】

「で、これからどうするんですか？」

相手の反応を切り返す

(例)

「帰る」→家ないのに？

「友達と会う」→友達いないのに？

「買い物」→また買い物？

それ以外→何で嘘つくの？

さらに弄り連打する(3~5往復)

深掘り質問をする

(例)

① 帰るの場合→「帰ってどうするの？」

② 友達と会うの場合→「友達と会ってどうするの？」

③ 買い物の場合→「今日は何買うの？」

さらに弄り連打する(3~5往復)

カフェ打診(ホテル打診)をする

会話に出てきた話題を入れて打診をする。

(例)友達に会う場合。→「友達カフェってのがあるから行こうよ」

実際はラブホテルに向かう。

新宿歌舞伎町、大阪難波の場合には、ラブホテルは必ず**「バリアン」**に向かう。

他のホテルがあってもスルーする。

【さらに方向転換を何回も行う(相手を振り回す)】

(ラブホテル**(バリアン)**前まで来たら、**立ち止め**して)

「ここが〇〇カフェなんですよ」

「なかなか普段空いてないんです」「今日は特別中の特別ですからね」

「お姉さんの高いバッグをくれるか、ここに入るならどっちがいいですか？」

相手から拒否の言葉があっても、真に受けず粘る(5分くらい粘る)

(どうしても無理そだつたら)

「わかりましたお姉さん、ずいぶんわがままですね」

「わがままなお姉さんのために、もっとすごいカフェがあるので、ちょっと覗いていきましょ
う」

「さあ、こっちはこっちは」

と言って、2軒目のラブホテルに行き、打診する(2軒目以降はバリアン以外で良い)
以後、さらに、ラブホテル打診を連打していく

ラブホテル打診は

「1軒当たり5分以上」かつ「5軒以上」

打診する

(5ー5の法則)

相手が、カフェや居酒屋等なら大丈夫と言っても耳を貸さず、シート連打に徹する
絶対に、カフェや居酒屋等には行かない(行ったら退塾処分)

LINE 交換は、媚びる行動なので、ゲット前には絶対にしない(やったら退塾処分)

※ホテル前拒否が多いのは「Sつ気不足」が原因(弄り連打不足、方向転換不足)。

※金銭要求も「Sつ気不足」が原因。

※シートが打てないのは「方向転換不足」が原因。

弄り連打と方向転換をしっかりする。

普段から実録音声のシャドーイングを徹底する(毎日2時間以上)。

実録音声を書き起こし、それを見ながらシャドーイングを推奨。

ストに出る直前にシャドーイングをし、塾長が乗り移った状態で行く。